

## 吉川市協働事業評価シート\_2021.ver1.3

提出日	令和3年4月22日	
記入者	団体等名	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	記入者名	中島 真由美
	部署名	子育て支援課
	記入者名	中村 雄貴

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	ホームスタート事業	
事業の実施者	団体等	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	行政	子育て支援課
事業の目的及び目標値	<p>【目的】育児に不安を抱えている保護者を対象に家庭訪問を通じて育児相談を行い、保護者の孤立を防ぐ。</p> <p>【目標値】訪問回数:200回</p>	
事業の内容	未就学児を抱える引きこもりがちな親に対して、一定のノウハウを身につけた地域ボランティアが自宅へ出向き、何気ない会話のなかで孤立感を防止し、児童虐待を防止することはもとより、家族のエンパワメントを図ることで子どもの利益を実現する。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	訪問回数:239回 ビジター数:37名	
協働事業決算	総額1,516,000円(うち市負担分1,516,000円)	
	簡単な内訳	人件費:1,182,900円 研修費:108,900円 通信費:48,000円 消耗品:30,000円 交通費:80,000円 その他:66,200円
実施期間	令和2年4月1日 から令和3年3月31日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日： 令和3年4月19日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、それぞれの立場からどのような良かった点や課題（共有・認識の差等）を相手へ伝えましたか。（記述式） <b>【団体⇒行政】</b> コロナ禍において、ビジターを家に入れるというリスクがあるにもかかわらず利用希望が多い状態であることを共有した。  <b>【行政⇒団体】</b> 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合いましたか。（記述式） 記入者【 団体 ・ 行政 】 感染予防対策について徹底しながら、多様化するニーズに対応できるよう、ビジター（訪問支援員）のスキルアップと人員確保についての必要性を共有した。		